

北九州の携帯販売店を事業譲受

エム・ティ・シー



「auショップイオンタウン黒崎」の外観



新機種やアクセサリが並ぶ店内。黒崎は6カウンター、小倉は8カウンターで対応する

携帯電話販売代理店のエム・ティ・シー(株) (福岡市博多区博多駅東2丁目、福田功社長)は5月1日、北九州市小倉北区砂津3丁目のチャチャタウン小倉(121㎡)と同市八幡西区西曲里町のイオンタウン黒崎(176㎡)の事業を既存代理店から運営を譲受し営業開始した。

販売力を強化しながら、2店舗とも初年度売り上げ3億円を目指す。また、同日付でauショップ直方をイオンモール内に移転しており、積極的に大型商業施設に店舗を設けることで、来客の利便性向上による顧客増加を狙う。同社では「今回の出店で8店舗体制となった。10店舗体制に向け、積極的に出店やリニューアルを進めていく」と話している。